

## YES for ESD 2015 in Taiwan

7月5日(日)から6日間の日程で、台湾高雄にある中山大学附属中学・高等学校において、国際交流プログラム(YES for ESD 2015)が開かれました。現地台湾以外に、日本2校、韓国2校、インドネシア1校のから43名の生徒が参加し、今年のテーマ「Energy Issues」をめぐって、“Hot”な議論を繰り広げました。本校からは、4月以来いっしょに準備を進めてきた奈良工業高等専門学校(以下、NITNC)の生徒5名とともに、5年生11名が参加しました。



※ YES for ESD…未来を担う若者を、よき地球市民へと育成することを主たる目的とし、様々な社会問題をテーマに、アジア太平洋地域の高校生が集い議論し合う高校生による国際会議。2010年度にフィリピン・カラバン市での本プログラムに初参加して以来、今年で6年目となる。

### Day 0 7月5日(日) 到着

関西空港から高雄への直行便で、3時間。空港に着くと、現地の生徒の案内で開催地である中山大学附属へと、地下鉄で向かいます。車内では、現地のガイドブック片手に、中国語での挨拶の言葉を一生懸命に練習しています。

学校へつくと、ホストが迎えに来てくれて、ホームステイの経験が始まります。



### Day 1 7月6日(月) Opening Ceremony & Cultural Presentation

1日目は、午前中が「開会行事」と学校紹介・文化紹介です。学校ごとに挨拶、メンバー紹介などがあつたあとに、各学校や日本文化の紹介が行われます。本校生徒は、ソーラン節ときゃりーぱみゅぱみゅの歌にあわせて踊りを披露し、拍手喝采をあげていました。

午後からは、さまざまな国が交じり合ったグループに分かれて、台湾の運営ボランティア(卒業生)に率いられて、シティツアーに出かけます。夜には、再び学校で「歓迎パーティー」が開かれました。この日から最終日までは、学校近くにあるドミトリー(寄宿舍)での多国籍な共同生活のスタートです。緊張した面持ちの生徒たちも徐々に打ち解けていきます。



すべて運営は、卒業生が行っていました



本校生徒は、ソーラン節を披露しました



インドネシアのチームです



シティツアーでは、おおきなフルーツカキ氷も堪能

## Day 2 7月7日(火) Presentation & Discussion

2日目は、前半の山場である、“エネルギー政策と未来のエネルギー”および“再生可能エネルギー”についてのプレゼンを各国・各チームが行いました。他国の生徒の英語力の高さに圧倒されながらも、本校の生徒たちもペーパーなしでのプレゼンをめざしてがんばりました。コメンテーターの方からは、そのプレゼンのできばえと調査の緻密さに高い評価がありました。

その後は、午前中は台湾のエネルギー政策を担ってきた方や研究者の方のワークショップが午後にかけて行われました。生徒たちは、少し“眠気”ともたたかいながら、最後はチームで、今後のエネルギーをめぐるマッピング作業をがんばりました。



発表者は、ペーパーなしでがんばりました



台湾のエネルギー問題の最先端の講義、わかったかな？



チームでマッピング作業 ここでも英語力が試されます



作業が終わると、みんなの前で発表です



## Day 3 7月8日(水) Field Work & Feedback on Presentation

3日目は、午前はエネルギー教育に熱心な小学校を訪問して、さまざまな取り組みについて教えていただきました。学校へつくと、かわいらしい小学生に取り囲まれながら、施設見学開始。校内にあるエネルギーを学ぶためのミニ科学博物館や体験的な施設をめぐりました。

午後は、ふたたび中山大学附属へ戻り、最終日の総括プレゼン（ポスターセッション）にむけて、チームで準備を行いました。準備は夜まで続き、ドミトリーの各部屋では遅くまで英語を読み上げる声が響いていました。



小学校は、とても大きな小学校でした



小学生からインタビューを受けました



午後は、各グループで、与えられた課題に対して、これまでの議論をふまえ、発表を行う準備をします

## Day 4 7月9日(木) Poster Session & Farewell Party

最終日は、朝から昨日作成した模造紙をもとに、ポスターセッション形式で、各チームの発表がありました。各チームに与えられたトピックは「エネルギー教育のこれから」「それぞれのエネルギーの利点と欠点の比較」「異なる国々でコミュニティの持続可能な目標達成する方法」「エネルギーを節約する生活を始めるために私たちができること」「原子力が数多くの事故ののちも重要視されている理由」「農村地域における環境保全とエネルギー資源開発の両立」といったものでした。大学教員も参観され、鋭い質問が飛ぶなか、生徒たちは成長した様子で、発表をしました。

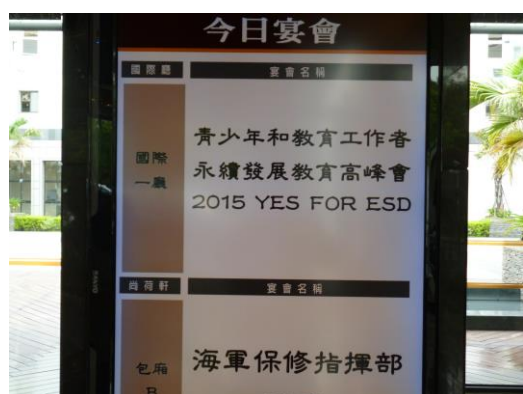
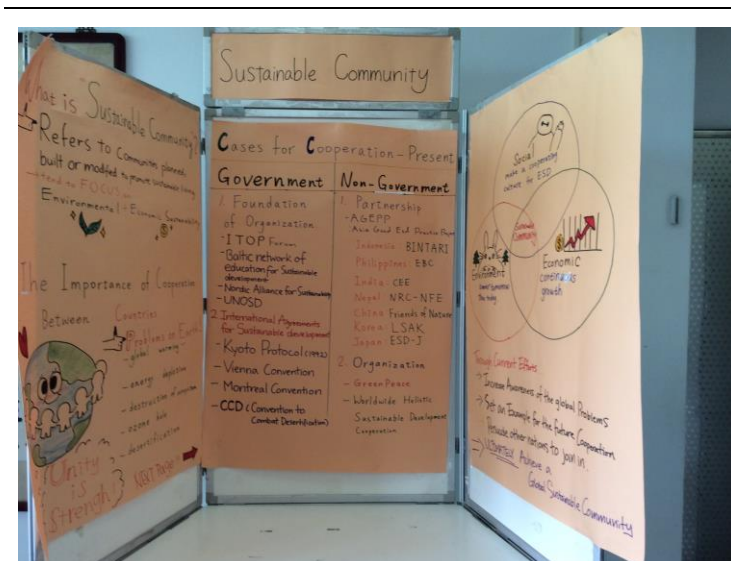
夜には、フェアウェル・パーティーが、ホテルの大宴会場を借りて、参加生徒やボランティアスタッフはも



もちろん、ホストファミリーや中山大學附属の先生方も招いて、盛大に行われました。会場の雰囲気からか、最初は硬かった生徒たちも、途中からはダンスや歌に大変盛り上がり、互いの努力をたたえ、別れを惜しんでいました。



ポスター発表の様子



パーティは、ホテルの1室で盛大に行われました

Last Day 7月10日(金) 出発



高雄空港で、涙のお別れです



また会う日を楽しみに…